

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年5月29日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2009-2012

課題番号：21242015

研究課題名（和文） 「共同体」概念に依拠しない秩序形成の理論歴史学～魂の脱植民地化の新しい展開～

研究課題名（英文） A Theoretical history of public order without depending on the "community" concept: the New emergence of the "decolonisation of the soul"

研究代表者

安富 歩 (YASUTOMI AYUMU)

東京大学・東洋文化研究所・教授

研究者番号：20239768

研究成果の概要（和文）：

人間を含む生命の生きる力を「神秘」として捉え、その発揮を阻害する要因たる「暴力」を合理的に解明する研究戦略を「合理的な神秘主義」として見出した。こうして発揮される神秘的な力こそが秩序形成の原動力であり、それは個々人の魂の脱植民地化を通じて実現される。この側面を無視した秩序論は必然的に暴力を正当化することになる。

研究成果の概要（英文）：

We proposed a new research strategy "rational mysticism". Here "mystique" means the power of living which all creatures including human being has. Element which prohibits or destroys this mystique power is called "violence". The rational mysticism is a strategy to study this violence and to find methods to deconstruct it. We found this mystic power is the source of social order and it is realised through the decolonisation of the soul of each person. Those discussions which neglect this mystic dimension results in the rationalisation of violence.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	12,000,000	3,600,000	15,600,000
2010年度	14,000,000	4,200,000	18,200,000
2011年度	7,000,000	2,100,000	9,100,000
総計	3,300,000	9,900,000	42,900,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・史学一般

キーワード：価値、創発、呪縛、暗黙知、調和、非線形、立場、東大話法、合理的な神秘主義

1. 研究開始当初の背景 現代は「市場」の力が急激に拡大し、「共同体」が崩壊の危機に立たされている時代だ、と観念されることが多いが、このように問題を設定すると、個々人の抱く不安の根源を隠蔽することになり、不安から逃れるために架空の紐帯にしがみ付く「自由からの逃走」を惹き起こしかねない。この論理的閉塞状況が、現代の諸学の陥穽となっている。

2. 研究の目的 アシア史の分野で蓄積された成果に依拠し、人間の関係形成のダイナミクスをより普遍的な形で理論化することでこの問題を乗り越え、学問全体を活性化する突破口を切り開くことを目指した。

3. 研究の方法 近代の諸学は「共通の(communis)」という概念に依拠して構成さ

れていることを認識し、この根底的な水準への反省に基いて、基礎概念の歴史的事実に基づいた徹底的な洗いなおしを行った。

4. 研究成果 このような洗いなおしのなかで浮かび上がったのが、「立場」という概念である。近代日本社会は、近世日本社会の基礎単位である「家」を「立場」へと分解し、個々人を立場の素材とする形で抑圧するシステムを形成したと考えられる。こうして人々は、個々人の考えとは別に、立場上の考えを展開する技能を磨いた。その最も洗礼された話法を「東大話法」という概念で総括した。こういった自分ならざるものに自らを明け渡す「魂の植民地化」が、社会的混乱の根本原因であり、そこからの離脱たる「魂の脱植民地化」を実現するための知識体系の構築が不可欠だという結論に至った。この戦略を「合理的な神秘主義」と名付けた。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 11 件)

平成 23 年度

①安富 歩「人間社会の秩序の基盤としての学習・儒家とサイバネティクス」『東洋文化』92 巻 2012 査読有、17-49。

②深尾葉子「フクシマ・ディアスポラ — ゆがめられた言説が生む苦悩と葛藤—」『東洋文化』査読有、92 巻 2012、265-309。

③深尾葉子、原田愛子、梶田由胤「地域と環境を再生するコミュニケーションの渦：徳島県上勝町と滋賀県沖島に見る魂の脱植民地化過程」『東洋文化』査読有 92 巻 2012、223-264

平成 22 年度

④長崎暢子、「初期国民会議派とインド・ナショナリズム—協力のなかの自立と変革」、岩波講座『東アジア近現代通史』、2 巻、2010、査読なし、244-261

⑤ Ayumu Yasutomi and Charles Yuji Horioka, 「Adam Smith's answer to the Feldstein-Horioka Paradox: The invisible hand and revisited」, 『Economic Letters』, 査読有 Vol.100,2011,36-37

平成 21 年度

⑥安富歩、「マルサス人口論の呪縛—孫文の中国革命プログラムとの関係を中心に—」『東洋文化』、90 巻、2010、査読有、147-184

⑦安富歩、「Decolonisation of the Soul: The Wisdom and Courage of Confucius and Gandhi」、『東洋文化』、90 巻、2010、査読

有、247-252

⑧深尾葉子、「魂の脱植民地化理論の新展開」、『東洋文化』、90 巻、2010、査読有、13-26

⑨深尾葉子、「『ハウルの動く城』に見る魂の脱植民地化過程」、『東洋文化』、90 巻、2010、査読有、91-116

⑩葛城政明、「経済学の呪縛」、『東洋文化』、90 巻、2010、査読有、227-245

⑪生田美智子、「満州の亡命ロシア人の表象—着衣と裸体—」、『セーヴェル』、26 号、2010、19-33

〔学会発表〕(計 3 件)

平成 22 年度

①Yasutomi Ayumu, Decolonisation of the Soul from the view point of Confucius, Summer Semester 2010, C.G. Jung institute, 21.June.2010, C.G. Jung Institute, Zurich

平成 21 年度

②脇田晴子「私と新作能の世界—「生国魂」「石見銀山」そして「問わず語り」」関西楽劇フェスティバル協会 上方ルネッサンス 2009 楽劇の祭典、2009.11.7、追手門学院大阪城スクエア

③脇田晴子「くぐつ・曲舞・白拍子—中世の女性芸能者—」(財)大学コンソーシアム京都 京都学術共同機構 プラザカレッジ京都学 講座、2009.7.12、キャンパスプラザ京都

〔図書〕(計 15 件)

平成 23 年度

①安富歩、本多雅人、樹心社、今を生きる親鸞、2011、200

②安富歩、青灯社、生きる技法、2011、187

③安富歩、明石書店、原発危機と「東大話法」：傍観者の論理・欺瞞の言語、2012、276

④安富歩、筑摩書房、生きるための論語、2012、269

⑤安富歩、明石書店、幻影からの脱出：原発危機と東大話法を超えて、2012、304

⑥安富歩、講談社、もう「東大話法」にはだまされない：「立場主義」エリートの欺瞞を見抜く、2012、208

⑦安富歩、超訳 論語、ディスカバー・トゥエンティワン、2012、288

⑧深尾葉子、青灯社、魂の脱植民地化とは何か(魂の脱植民地化叢書 1)、2012、384

⑨生田美智子、ミネルヴァ書房、高田屋嘉兵衛：只天下のためを存おり候、2012、384

⑩生田美智子、成文社、満洲の中のロシア：協会の流動性と人的ネットワーク、2012、299  
⑪安富歩、青灯社、合理的な神秘主義：生きるための思想史(魂の脱植民地化叢書3)2013、323

⑫深尾葉子、講談社、日本の男を喰い尽くすタガメ女の正体、2013、187

平成 22 年度

⑬安富歩、NTT 出版、経済学の船出～創発の海へ、2010、278

⑭深尾葉子・安富歩・朱序弼、東京大学東洋文化研究所、風響社、黄土高原・緑を紡ぎだす人々「緑聖」朱序弼をめぐる動きと語り、2010、352

平成 21 年度

⑮安富歩・深尾葉子 他、名古屋大学出版会、「満洲」の成立～森林の消尽と近代空間の形成～、2009、576

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況 (計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

[その他]

ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

安富 歩 (YASUTOMI AYUMU)

東京大学・東洋文化研究所・教授

研究者番号：20239768

### (2) 研究分担者

深尾 葉子 (FUKAO YOKO)

大阪大学・経済学研究科(研究院)・准教授

研究者番号：20193815

脇田 晴子 (WAKITA HARUKO)

城西国際大学・人文学部・名誉教授

研究者番号：80088012

長崎 暢子 (NAGASAKI NOBUKO)

龍谷大学・人間・科学・宗教総合研究センター・研究員

研究者番号：70012979

中村 尚司 (NAKAMURA NAOJI)

龍谷大学・人間・科学・宗教総合研究センター・研究員

研究者番号：50172424

生田 美智子 (IKUTA MICHIKO)

大阪大学・言語文化研究科・教授

研究者番号：40304068

千葉 泉 (CHIBA IZUMI)

大阪大学・人間科学研究科・教授

研究者番号：20217243

西川 英彦 (NISHIKAWA HIDEHIKO)

法政大学・経営学部・教授

研究者番号：10411208

中山 俊秀 (NAKAYAMA TOSHIHIDE)

東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・准教授

研究者番号：70334448

葛城 政明 (KATSURAGI MASAOKI)

大阪大学・経済学研究科・准教授

研究者番号：60273736

苅部 直 (KARUBE TADASHI)

東京大学・法学・(政治学) 研究科(研究院)・教授

研究者番号：00261941

渡辺 己 (WATANABE ONORE)

東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・准教授

研究者番号：30304570

星 泉 (HOSHI IZUMI)

東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・准教授

研究者番号：80292994

小寺 敦 (KOTERA ATSUSHI)  
東京大学・東洋文化研究所・准教授  
研究者番号：30431828

上田 貴子 (UEDA TAKAKO)  
近畿大学・文芸学部・准教授  
研究者番号：00411653

椎野 若菜 (SHIINO WAKANA)  
東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化  
研究所・准教授  
研究者番号：20431968

與那覇 潤 (YONAHA JYUN)  
愛知県立大学・日本文化学部・准教授  
研究者番号：50468237

(3)連携研究者

黒田 明伸 (KURIDA AKINOBU)  
東京大学・東洋文化研究所・教授  
研究者番号：70186542

